

MICCIIR

vol.20 株式会社メガチップス
2014年3月期上半期のご報告
2013年4月1日～2013年9月30日

P2 社長が語るメガチップス

グローバル企業としての
価値向上に努め
継続的な成長を目指します。

P5 なるほど!メガチップス

メガチップスのビジネスモデルと
特長を紹介します!

2014年3月期上半期のご報告
2013年4月1日～2013年9月30日

Mega Chips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この報告書は植物油インキを
使用して印刷しています。

郵便はがき

532-8790

012

大阪市淀川区宮原1-1-1 新大阪阪急ビル

株式会社メガチップス
広報課行



差出有効期間
平成26年3月
31日まで
(切手不要)



株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

- 性別：男性 女性
- 年齢：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～
- 職業：会社員 自営業 公務員 主婦 その他()
- 当社株式保有数：
単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株
300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上
- 当社株式保有期間：
1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満
5年以上10年未満 10年以上
- 居住地：
北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国
九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。
※2014年2月28日までにご投函ください。



ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。



2014年3月期 上半期の決算ハイライト

Financial Highlight

売上高 **313** 億円 前年同期比 26.8%増

営業利益 **24** 億円 前年同期比 4.8%増

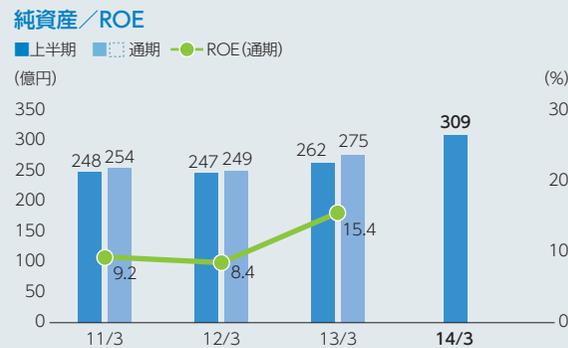
四半期純利益 **38** 億円 前年同期比 37.6%増

POINT 1 期初に連結子会社川崎マイクロエレクトロニクス株式会社(以下、川崎マイクロ)と合併し、新生メガチップスとしてスタート。

POINT 2 デジタルカメラ用LSIの新製品の寄与に加え、液晶パネル向けLSI、事務機器向けLSIが堅調に推移し、前年同期比で増収増益を達成。

POINT 3 川崎マイクロとの合併に伴い、繰延税金資産の計上による税額調整(利益)24億5千万円が発生したことなどにより、四半期純利益は営業利益の伸び率を上回る。

POINT 4 2014年3月期通期においても、増収増益の見込み。



Contents

- 1 2014年3月期 上半期の決算ハイライト
- 2 社長が語るメガチップス
- 5 なるほど! メガチップス
- 7 会社情報/役員構成
- 8 株主様ラウンジ

見直しに関する注意事項
 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

社長が語る
メガチップス
President's Message



グローバル企業としての
価値向上に努め
継続的な成長を目指します。

代表取締役社長 **高田 明**

業界全体の市場環境が依然として低調に推移するなか、前年同期比で増収増益を達成しました。

2014年3月期上半期の電子機器業界は、経済対策などの効果により、一部の電子部品・デバイスの需要は前年同期比増となったものの、電子機器業界全体の市場としては、前年同期比減という状況で推移しています。

また、当社は、2013年4月1日付で、連結子会社の川崎マイクロエレクトロニクス株式会社と合併しました。この経営統合によって、両社の経営資源を効率的に最大限活用し、中長期的に環境変化に強いグローバル企業としての土台を確立することを目指して、全社員が価値観を共有し、共通の使命・目標を設定して、新生メガチップスとして新しい一歩を踏み出しました。

こうした状況のなか、2014年3月期上半期の業績は、デジタルカメラ用LSIの新製品が寄与したこと、液晶パネル向けLSI、事務機器向けLSIが堅調に推移したことなどにより、**売上高は313億5千2百万円(前年同期比26.8%増)、営業利益は24億8千5百万円**

(同4.8%増)、**経常利益は26億1千6百万円(同11.9%増)となりました。**四半期純利益は、繰延税金資産の計上による税額調整(利益)が24億5千万円発生したことなどにより**38億1千7百万円(同37.6%増)**となり、増収増益を達成しました。

2014年3月期通期の連結業績予想は、前回の予想を据え置いています。具体的な数値は、**売上高630億円(前年同期比17.5%増)、営業利益42億円(同6.0%増)、経常利益42億円(同1.9%増)、当期純利益49億円(同21.2%増)**を見込んでいます。

3つの成長戦略に基づき、グローバル化の推進をはじめ積極的に施策を展開しました。

当社は、当期から2016年3月期を最終年度とする3か年中期経営計画において、**「新しいアプリケーションを創造すると共に、システムソリューションを提供し続けるグローバル企業」**として認知されるための方向性を明確化し、3つの成長戦略を打ち出しています。

1つめの「国内**コンシューマ市場**向けの事業基盤を

強化する]では、当社の事業基盤である家庭用ゲーム機、デジタル家電、事務機器、ホームネットワーク機器、セキュリティ機器向けの事業において、顧客との信頼関係をベースとした長期的なビジネス関係の維持・拡大を目指しています。特に、**複合機をはじめとする事務機器向け分野においては、積極的に顧客提案を行っ**

た結果、将来的な事業拡大につながる新規開発案件を獲得することができました。今後も、**システムLSI**からソフトウェアまで幅広く対応できる当社の技術力・開発力を高めていくとともに、企画から開発、製造オペレーション、品質保証、供給まで、一貫して顧客をサポートできる体制を一層強化し、顧客からの信頼を得

ることで、事業強化を図る考えです。

2つめの「国内の成長産業分野において、新たな事業育成を図る」では、多種多様な先端技術が求められる環境、エネルギー、自動車、インフラ産業などの市場をターゲットに、ソリューションの企画や技術開発を進めています。現状、これらの分野における画像処理や通信技術を中心とする**IP(設計資産)**の蓄積、そしてアプリケーション(用途)開発やマーケティング強化に注力し、将来の柱となる事業育成のための取り組みを進めています。

3つめの「グローバルマーケット進出のための体制強化を図る」では、当社が積極的に海外進出するための体制整備に取り組んでいます。まずその一環として、**アジア地域におけるビジネス拡大を目指し、新たに100%出資の子会社を台湾に設立しました(P3 TOPICS参照)**。さらに、他の海外拠点であるアメリカ、中国、インドにおいても、営業体制の強化、開発の効率化に向けた**オフショア開発体制の整備**や生産調達体制の拡充を進めています。これらグローバルネットワークの構築・強化を通じて、国内外の事業展開を積極的に図っていく考えです。

これら3つの施策を実践していくことで、**当社ならではの魅力的なソリューションを創造し、グローバル企業としての価値向上を図ります。**そして、急速に変化する市場のニーズに柔軟に応えながら豊かな社会の実現に貢献し、継続的な成長を目指します。

株主様への利益還元に努める一方、株式価値と資本効率の向上にも努めていきます。

当社は、株主の皆様への利益還元を、経営上の重要な施策として位置づけています。株主配当については、会計・決算上の特殊要因を除き、「配当性向30%程度」または「連結純資産配当率(DOE)2%程度」のいずれか高い方を基本として、連結業績、財務状況、投資計画などを考慮して決定し、年1回実施する方針です。

次回、2014年3月期の1株当たりの年間配当は未定ですが、方針に基づいて実施の予定です。決定しましたら、リリースを行うとともにホームページ上でお知らせします。また、**自己株式の市場からの買付け(自己株式取得)**については、買付けを実施する前にリリースを行うとともに、ホームページ上でもお知らせします。

今後も、配当方針を堅持しつつ、中期的な成長性、事業環境、市場環境、投資計画などを総合的に勘案し、機動的に自己株式取得を適宜実施することで、株式価値と資本効率の向上に努めます。

株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

代表取締役社長 **高田 明**

TOPICS 台湾に現地法人を設立

2013年9月、メガチップスは、台湾・台北市に当社100%出資の子会社「信芯股份有限公司」を設立しました。

これまで台湾においては液晶パネル向けLSIを中心として支店形態で事業活動を展開していましたが、今後、アジア地域での事業展開を加速させるために、当社グ

ループ製品の販売、生産管理およびサポートなどを行う現地法人を設立しました。

この新会社は、アジア地域のヘッド・クォーターと位置づけており、セールス・マーケティング、開発、**F&E**、生産管理の各機能の強化を図っていく考えです。なお、営業開始は2014年1月1日を予定しています。

メガチップスのグローバルネットワーク



用語解説 Key Word

コンシューマ市場

コンシューマは一般消費者のこと。当社においては家庭用ゲーム機、デジタルカメラ、液晶テレビなどの市場を指します。

システムLSI

多数の機能を1つのチップで実現するLSIのこと。例えば当社では、映像処理、音声処理、通信処理、メモリーの機能を搭載したシステムLSIを開発しています。

F&E

Field Application Engineer(フィールド・アプリケーション・エンジニア)の略称。技術の専門知識を備えた営業職もしくは営業サポート職のこと。

IP(設計資産)

システムLSIを構成する機能回路や、その上で動く組み込みソフトウェアのこと。これらが最終製品の性能を左右することから「資産」と捉え、各社とも権利化を進めています。

オフショア開発

海外の子会社や事業者に開発を委託すること。コストを抑えられる、時差を有効活用して工期を短縮できるといったメリットが注目を集めています。当社では米国およびインドで開発を行っています。

自己株式の市場からの買付け(自己株式取得)

株式市場から自社の株式を買い戻すこと。市場に回る株式総数の減少によって1株当たり利益の増加につながることから、当社では、株主様への利益還元策の1つとして重視しています。

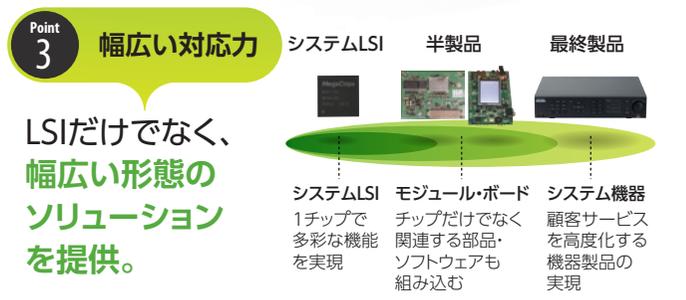
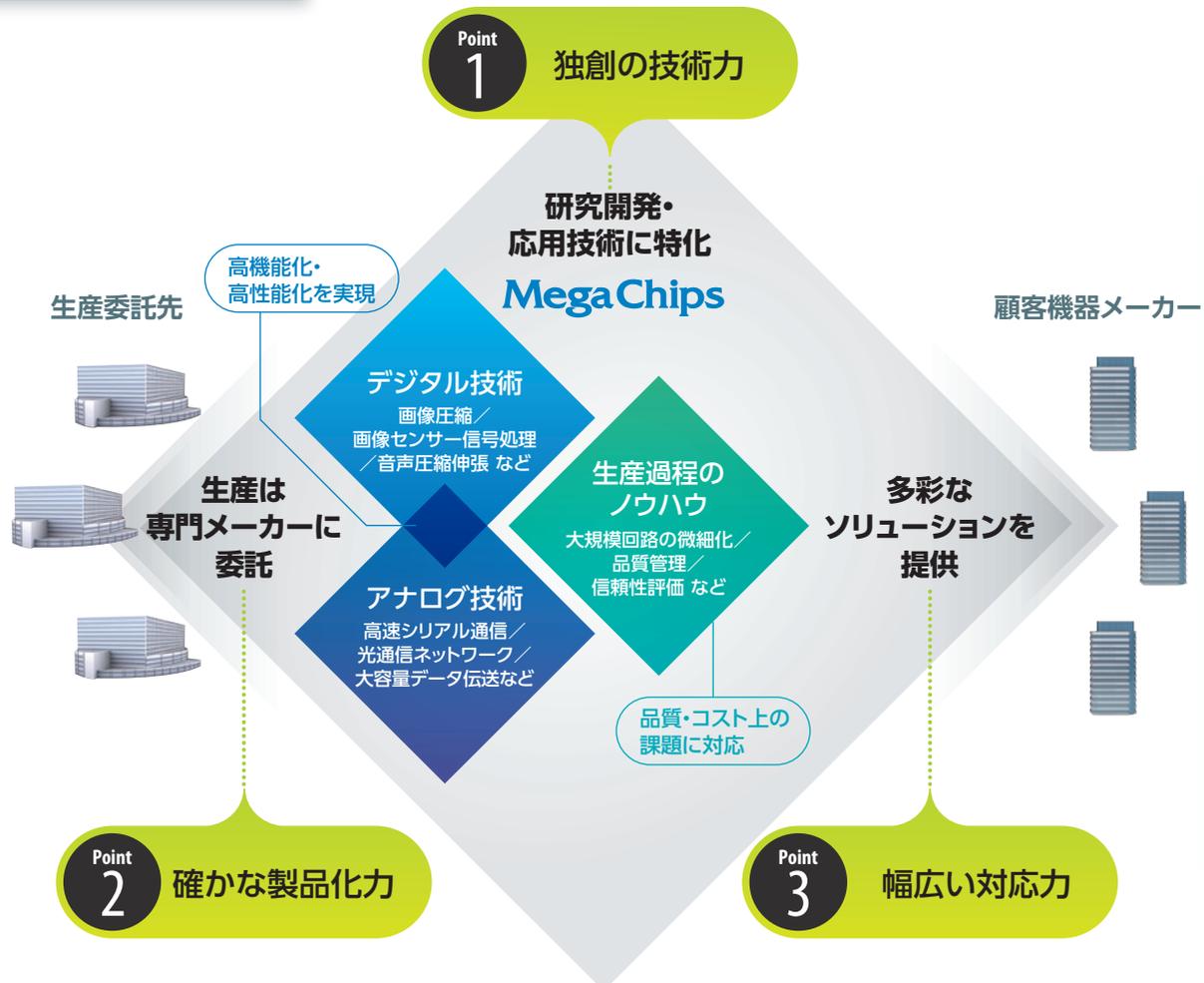
なるほど! メガチップス

メガチップスの
ビジネスモデルと
特長を紹介します!

私たちはシステムLSIの開発・提供を軸に
顧客の“ものづくり”を支援する
ファブレスメーカーです。

メガチップスは、**画像・音声・通信分野**における高い技術力を武器に、独自のLSIやシステム機器を開発・提供しています。「生産施設を持たない=ファブレス」をビジネス形態とし、一般的なファブレスのメリットである「研究開発に集中・特化し、優れた開発・設計技術

有する」のはもちろん、「生産過程(製品の微細化、品質管理、コストダウン)のノウハウ」も蓄積。こうした特長を最大限に活かして、製品の高機能・高性能化や品質、コスト、スピード、環境対応など、**顧客メーカーの製品開発・生産上の課題解決に貢献**しています。



開発実績 画像・音声・通信分野のデジタル技術・アナログ技術を融合し、付加価値の高い製品を創出しています。

ゲーム機向けLSI

据置型テレビゲーム機向け映像圧縮伸張処理LSIや、携帯型ゲーム機向けゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリー)などを提供しています。



* Wii U・ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。

デジタルカメラ向けLSI

世界最高レベルの高速高画質画像処理、ノイズ軽減、逆光補正などを実現しています。



液晶パネル向けLSI

液晶ディスプレイに内蔵するデータ伝送インターフェースLSIを提供。液晶テレビ向けでは世界市場約25%と高いシェアを占めています。



光ネットワーク向けLSI

超高速でデジタルデータを伝送するLSI製品で、世界市場におけるリーディングポジションを確立しています。



事務機器向けLSI

高速かつ大容量のデータ伝送を実現するアナログ・デジタル混載のLSIを提供しています。



システム機器

高画質なセキュリティ監視を実現するレコーダーやカメラ、電力使用量を見える化する「リアルタイム電力自動測定システム」などを提供しています。



映像監視システム機器 リアルタイム電力自動測定システム



会社情報/役員構成 (2013年9月30日現在)

Corporate Data / Directors and Auditors

会社商号	株式会社メガチップス	所在地 (本社)	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル TEL. 06-6399-2884(代表)
英文商号	MegaChips Corporation	(東京事業所)	〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル
設立	1990年4月4日	(幕張事業所)	〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1丁目3番地
上場	東証1部(証券コード6875)	(海外拠点)	台湾、アメリカ、インド、中国
資本金	4,840百万円		
従業員数	717名		
事業内容	システムLSI、自社システムLSIを使った電子部品およびシステム製品の設計・開発・製造(外部委託)・販売		

役員



代表取締役社長
高田 明
(たかた あきら)



取締役副社長
松岡 茂樹
(まつおか しげき)



専務取締役
藤井 理之
(ふじい まさゆき)



取締役
肥川 哲士
(ひかわ てつお)



取締役
佐々木 元
(ささき げん)



取締役
吉清 恭一
(きよせい きょういち)



社外取締役
赤星 慶一郎
(あかほし けいいちろう)



社外取締役
游 敦行
(いろう だんしん)



常勤監査役
角 正
(すみ たかし)



社外監査役
中西 藤和
(なかにし ひさかず)



社外監査役
小原 望
(おはらの のぞむ)



社外監査役
北野 敬一
(きたの けいいち)

※ 取締役 赤星 慶一郎氏および游 敦行氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
※ 監査役 中西 藤和氏、小原 望氏および北野 敬一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

Shareholders Lounge 株主様ラウンジ



株主様へのアンケート結果のご報告

「MCCIR vol.19」誌上のアンケートにおいて、株主の皆様からご回答いただきました貴重なご意見は、今後の経営およびIR活動に活かしてまいります。

Q1 当社株式の保有期間は?



Q2 今後、詳しく掲載を行って欲しい情報は?

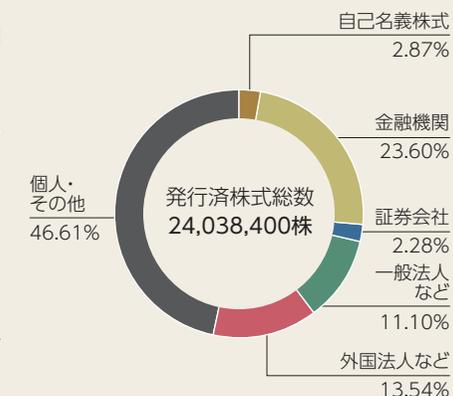


当社の株主構成

株主数推移



所有者別株式分布



株主様からの声

- “経営統合のメリットがわかりやすかった。”
- “今後も経営統合による発展を継続的に報告してもらいたい。”
- “表・図が多く、また、ポイント解説があって読みやすい。”
- “研究開発や新技術について詳しく知りたい。”
- “役員の写真が掲載されており親近感をおぼえた。”
- “MCCIRの発送をゴミ減量化のためシール貼りになっているのは好感がもてる。”
- “社会貢献活動についても積極的にアピールして欲しい。”



株主総会のご報告

第23期定時株主総会のご報告

2013年6月21日(金曜日)、当社第23期定時株主総会がラマダホテル大阪「大淀の間」で開催され、307名の株主様にご出席いただきました。

事業報告、監査報告などを行い、議案2件「取締役8名選任の件」、「監査役1名選任の件」のいずれも承認・可決されました。

総会后、別会場にて当社の製品展示会を開催し、多くの株主様とのコミュニケーションを深めることができました。株主の皆様におかれましては、議決権の行使にご協力いただきまして誠にありがとうございました。



株主総会

製品展示会場

2013年度 株主優待について



株式会社高島屋カタログ



「ルイージマンション2」*
©2013 Nintendo



「とびだせ どうぶつの森」*
©2012 Nintendo

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待制度を設けています。本年も2013年3月31日現在で当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様に心ばかりの品を贈呈させていただきました。本年度は、株式会社高島屋の提供する商品カタログの中から、希望される商品1点(3,000円相当)、または任天堂株式会社製ニンテンドーDS[®]用ソフト、ニンテンドー3DS[™]専用ソフトの中から1点をご優待としてお届けしました。

なお、次回の株主様への株主優待カタログ発送は2014年6月上旬を予定しております。

※Wii U・ニンテンドー3DS・ニンテンドーDSは任天堂の登録商標または商標です。

ご注意 株主優待は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、100株(1単元)以上のご所有の株主様を対象に行っています。ご転勤などご住所を変更される場合は、証券会社等口座開設先へ必ず住所変更届をご提出ください。株主優待に関する当社からのご案内書が届けられない場合が少なからず発生しています。なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできませんので、ご注意ください。

2013年度株主優待結果

株主優待対象株主数	32,916名
株主優待行使株主数	32,780名
【ご参考】カタログ商品 ゲームソフト	27,290名 5,490名
株主優待未行使株主数	136名

人気優待品ベスト5

本年度の株主優待品の人気ベスト5をご紹介します。

順位	優待品(申込商品)
1	ルイージマンション2*
2	とびだせ どうぶつの森*
3	New スーパーマリオブラザーズ2*
4	マリオカート7*
5	山形県産 川中島白桃

*ニンテンドー3DS[™]専用ソフト

今後の活動予定(IRカレンダー)



株主メモ

決算日 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 配当基準日 毎年3月31日
 この他、取締役会の決議により、予め公告して基準日を定めることができます。

1単元の株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話：0120-094-777(通話料無料)
 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00

公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL
<http://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/8/6875/index.html>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取扱致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

IR活動の充実に向け株主様アンケートにご協力ください

2014年2月28日
まで受付

- Q1 株主通信「MCCIR」vol.20の内容で、興味を持たれた記事・コーナーをお選びください。(複数回答可)
- Q2 今後、詳しく掲載を行って欲しい情報はどのようなか。(複数回答可)
- Q3 今後強化して欲しいIR活動・ツールはどのようなか。(複数回答可)
- Q4 当社ホームページをご覧になったことはありますか?
ある ない
- Q5 株主通信「MCCIR」のご感想またはIR活動へのご要望をお聞かせください。
- アンケートにご協力いただきありがとうございました。